

全 体 会

(平成18年8月31日)

## 1. 開催状況

日 時：平成18年8月31日（木） 14：00～16：00

場 所：朝日庁舎 第一会議室

内 容：1) 開会

2) あいさつ（月山ダム管理所 安齋 功幸所長）

3) 新会員紹介

4) 発起会議事録

5) 活動報告

6) 協議

①「南庄内水と緑の環ネットワーク」ロゴ・ポロシャツについて

②「月山ダムテーマソング」について

③今後の活動

- ・ 今後の推進体制について
- ・ 森のマイスター養成プロジェクト
- ・ 樹木の里親プログラム
- ・ 機関紙の発行について
- ・ 水源地次世代フォーラム（仮称）について



## 2. 主な意見

### ① 「南庄内水と緑の環ネットワーク」ロゴ・ポロシャツについて

#### ● ロゴマークについて

- ・ 2種4案 提案

結論：右図イラストに決定。今後、活動の際利用していく。



#### ● ポロシャツに関して

- ・ 反対意見：ポロシャツは現場では使えない。また、ストックをある程度用意しなければならないのでその費用をどうするのか。
- ・ 賛成意見：PR活動の際必要。また、ネットワークの活動は現場だけではない。

結論：まだ時期的に早い。もう少し活動を充実させてから作るということで、ポロシャツ制作は保留。

### ② 「月山ダム」テーマソングについて

- ・ 公で流すのであれば少しアレンジが必要。
  - ・ 歌詞を公募してもいいのではないか。プロに依頼すると、地域性が出ないので、あくまでも地域の方に参加してもらおう、ということではどうか。
- 曲名にサブタイトルをつけたい。(月山ダムをイメージできるような)

結論：この曲を活かしていくという点では賛成多数。「この星の友達」という曲をベースにして、伴和香子氏と相談し、今後手を加えていく。

### ③ 今後の活動

#### 【今後の推進体制について】

#### ● 活動経費について

- ・ 会員が一定の出資をして負担してもらおう。自分たちもイベントを楽しむ、という気持ちで子供たちや参加者に提供する気持ちが大事ではな

のではないか。

- ・自然保護などのネットワークの活動を支援していただけないだろうか。
- ・組織をしっかりさせるためには、支援を待つより、自分が会費をはらってでもやる、という意識が必要。
- ・魅力的なイベントを開催して、参加者から参加費をもらうほか無いのではないか。

結論：近々幹事会を開き、ある程度詰める。その後また、全体会を開き話し合う。

**【森のマイスター養成プログラムについて】**

- ・中台あたりで行なうとすれば、コケをはぐ、木のこぶを切るなど、自然を壊さないマナーも教えて欲しい。
- ・自然に対して謙虚になることが今の人には足りない。そういう講座も入れて欲しい。
- ・山や川の事故やレスキューなども教えて欲しい。
- ・先頭に立ってくださる方がまだいないので、後日担当者を決める。

**【樹木の里親プログラムについて】**

- ・今年最後のブナ稚樹採取にできるだけ参加していただきたい。そのときにぜひ「ゆうゆうの森」も見学したい。
- ・実施日については後日、事務局を通して連絡する。

**【機関紙の発行について】**

- ・幹事会で内容を詰めて、後日全体会で再協議する。

**【水源地次世代フォーラム（仮称）について】**

- ・幹事会で内容を詰めて、後日全体会で再協議する。

### 3. 参加者

	所 属	氏 名	役 割
民間団体	国土交通省水源地域対策アドバイザー	岡部 恵美子	代表
	朝日大泉スポーツ少年団 代表	岡本 孝勇	副代表
	産直あさひぐー	五十嵐 昭子	幹事
	国土交通省地域づくりレポーター	風間 彦男	≒
	写真家 日本野鳥の会	太田 威	≒
	公益のふるさと創り鶴岡	阿部 等	≒
	(有) 日本アウトドアシステム	田中 進一	≒
	鶴岡放送児童合唱団 代表	伴 和香子	≒
	青嵐舎	篠 清久	≒
	NPO DO! t a n k	大村 健二	≒
学識者	山形大学農学部 教授	小野寺 弘道	≒
	山形大学農学部 教授	前川 勝朗	≒
学生	山形大学農学部 4年	野口 奈津美	≒
行政	鶴岡市朝日庁舎企画課企画調整係企画主査	石井 二三	≒
	月山ダム管理所 所長	安斎 功幸	≒
事務局	月山ダム管理所 管理係長	長尾 博文	事務局
	月山ダム管理所 管理係	遠藤 正英	≒